

専門学校ESPエンタテインメント東京 音楽芸能スタッフ科

授業科目名	セルフブランディング		授業形態 / 必・選	講義	必修	
	学則上表記	セルフブランディング	年次	1年次		
授業時間	90分(1単位時間45分)		年間授業数	38回(76単位時間)	年間単位数	5単位
科目設置コース	音楽スタッフ総合コース / アーティストスタッフコース / レコーディングコース / PA&Recコース / PAコース / 照明コース / ローディーコース / 企画制作コース / 舞台製作コース				教員の 実務経験の有無	
担当講師 実務経歴	SchooSwingを利用口					
授業概要						
オンデマンド学習システム「Schoo Swing」の動画群の中から抜粋し、視聴する。(自己啓発、リーダーシップ、価値観、目標達成など) また、卒業生や外部協力企業に依頼してオリジナルコンテンツを作成し、視聴する。						
到達目標						
学生自身が、その手にしっかりと「自分の人生のオール」を持ち、漕いでいくために、自分のブランドを知り、自分が目指すのはここだ！という「羅針盤(コンパス)」を設定できるようなコンテンツを、オンデマンド学習システム「Schoo Swing」の動画群の中から抜粋し、視聴する。						
授業計画・内容						
【前期】 1～8回目	「理想の自分、なりたい自分」と価値観					
【前期】 9～13回目	ビジョン・ゴール					
【前期】 14～19回目	感情のコントロール					
【後期】 20～24回目	思考のルール					
【後期】 25～27回目	リーダーシップ					
【後期】 28～33回目	チームビルディングとフォローシップ					
【後期】 34～37回目	物事のとらえ方(パラダイムシフト)					
【後期】 38回目	コミュニケーション力					
評価方法	学期末に実施する試験点数、出席率、講師評価等の項目から総合的に評価する。 S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。					
備考	各動画については、レポートを課す。①今回の動画で印象に残った言葉は？②今回の動画を視聴して、明日から行動することを具体的に1つあげてください。③今回の動画の感想は？ 一方的な動画視聴で終わらないように、担当教務からのフィードバックを全体に行っている。					

専門学校ESPエンタテインメント東京 音楽芸能スタッフ科

授業科目名	サウンドアナライズ		授業形態 / 必・選	講義	必修
	学則上表記	サウンドアナライズ	年次	1・2年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	38回(76単位時間)	年間単位数	5単位
科目設置コース	舞台製作コース/PAコース/企画制作コース/音楽スタッフ総合コース			教員の 実務経験の有無	該当
担当講師 実務経歴	音楽ソフトの企画・制作からプロモーション、アーティストマネジメントに従事。その後、ヘアメイク、スタイリスト、カメラマン、デザイナーなどクリエイターのマネジメントに移行。現在も幅広く業務を行っている。				
授業概要					
さまざまな年代、ジャンルの音楽について知識を深める。音楽の歴史背景だけでなく楽曲そのものにも触れていく。					
到達目標					
スタッフとしてアーティストの要望に対応するため音楽ジャンルの幅を広げる。					
授業計画・内容					
【前期】 1～5回目	クラシック(古典派)、弦楽四重奏(Vln、Vla、Vc、Cb)／クラシック(ロマン派)、Apf ラグタイム、Resonator／ブルース(Guitar、Harmonica)				
【前期】 6～10回目	ジャズ(Tp、Sax、Tb、C.B、Hammond Organ、Leslie Speaker)／ビックバンドジャズ(Vib、Ondes Martenot) カントリーミュージック(Banjo、Steel Guitar、Resonator G)				
【前期】 11～15回目	R&B(Mandolin、Bandoneon、Auto Harp)／ゴスペル(String Bender、Wurlitzer、Clavinet)／ロックンロール				
【前期】 16～19回目	70年代歌謡曲(CP70)／80年代歌謡曲(DX-7) 前期試験				
【後期】 20～24回目	90年代歌謡曲(SEQ)／ロック(Mellotron、Moog、Theremin)／サーフィンロック グラムロック／プログレッシブロック／パンクロック				
【後期】 25～29回目	ハードロック(Mashall、Fender Twin、Ampeg)／フュージョン(Rhodes) ボサノヴァ／シャンソン／インディアンミュージック(Sitar、Electric Sitar)				
【後期】 30～34回目	レゲエ／ハワイアンミュージック(Ukulele)／ヘビーメタル(Twin BD) ジャパニーズ／メタル				
【後期】 35～38回目	ヴィジュアル系ロック／ジャパニーズ・ロック 後期試験				
評価方法	学期末に実施する試験点数、出席率、講師評価等の項目から総合的に評価する。 S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。				
備考					

専門学校ESPエンタテインメント東京 音楽芸能スタッフ科

授業科目名	パソコン講座Ⅰ		授業形態 / 必・選	講義	必修
	学則上表記	パソコン講座Ⅰ	年次	1年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	38回(76単位時間)	年間単位数	5単位
科目設置コース	PAコース/照明コース/ローディーコース/舞台製作コース/企画制作コース□			教員の 実務経験の有無	該当
担当講師 実務経歴	デザイン会社で雑誌・パンフレット制作を担当。 DTP(デスクトップパブリッシング)のデザイン制作から広告などの企画提案・制作・ディレクション業務に至る一連の業務に従事。				
授業概要					
通常業務でよく使用されている「Word」「Excel」「Illustrator」についての解説、操作実習。 フライヤー・WEBプロモーション時における情報管理の徹底、SNSの取り扱いについて					
到達目標					
音楽業界で必要とさせる「Word」「Excel」「Illustrator」の3つのソフトの基本的な操作方法。 就職してからすぐに役立つ技術の修得。					
授業計画・内容					
【前期】 1～5回目	iMacの電源の入れ方 各種アカウントの設定 Macの基本操作の確認				
【前期】 6～10回目	【Word】 Wordの使用方法 タイピング練習を兼ねた文字入力				
【前期】 11～15回目	【Excel】 簡単な計算 タイムテーブル作成				
【前期】 16～19回目	【イラストレーター導入】 基本ツールの説明 図形描画、色付け、最前面、最背面				
【後期】 20～24回目	【ペンツール】 直線を描く/スムーズポイント/コーナーポイント 直線から曲線への変化				
【後期】 25～29回目	・パスの修正の仕方 ・整列設定(等間隔)・回転、移動等 ・ペンツール総合問題				
【後期】 30～34回目	Excelによる計算法 Excelによる精算書作成				
【後期】 35～38回目	課題提出 1年間の総まとめ				
評価方法	学期末に実施する試験点数、出席率、講師評価等の項目から総合的に評価する。 S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。				
備考					

専門学校ESPエンタテインメント東京 音楽芸能スタッフ科

授業科目名	一般教養講座		授業形態 / 必・選	講義	必修	
	学則上表記	一般教養講座	年次	1年次		
授業時間	90分(1単位時間45分)		年間授業数	38回(76単位時間)	年間単位数	5単位
科目設置コース	PAコース/照明コース/ローディーコース/舞台製作コース/企画制作コース/ レコーディングコース/PA&レコーディングコース/アーティストスタッフコース			教員の 実務経験の有無	該当	
担当講師 実務経歴	音楽専門誌の記者を経て、東京未来大学こども心理学部・特任准教授として教鞭をふるう。 現在は音楽教育の場におけるコミュニケーションのあり方をテーマに研究中。					
授業概要						
「コミュニケーション能力」「状況判断能力」「説明能力」の3点をテーマとした講義。						
到達目標						
社会人としての基礎的スキルの習得。						
授業計画・内容						
【前期】 1～5回目	Eメールの使い方/Eメールのアドレス帳の活用 言葉による状況説明①(時系列) 就職活動セミナー①					
【前期】 6～10回目	言葉による状況説明②(情報の整理)/言葉による状況説明③(話の要約)/言葉による状況説明④(主観と客観) 文章の書き方①(話し言葉、書き言葉)/文章の書き方②(5W1Hの活用)					
【前期】 11～15回目	ビジネスメールの書き方 就職活動セミナー② ビジネス文書①(文書の種類)/ビジネス文書②(社内文書)					
【前期】 16～19回目	ビジネス文書③(社外文書)/ビジネス文書④(社交文書) コミュニケーション論(概論)/非言語コミュニケーション/表情とコミュニケーション					
【後期】 20～24回目	就職活動セミナー③ 距離によるコミュニケーション/言語コミュニケーション/説得的コミュニケーション					
【後期】 25～29回目	敬語①(敬語の分類)/敬語②(尊敬語)/敬語③(謙譲語)/敬語④(間違いやすい敬語)/敬語⑤(仕事でよく使われる敬語)					
【後期】 30～34回目	就職活動セミナー④ 履歴書の書き方①(基本データ)/履歴書の書き方②(自己PR)/履歴書の書き方③(志望動機)					
【後期】 35～38回目	【心理学講座】 自分を知る/社会からの影響/他者との関わり					
評価方法	学期末に実施する試験点数、出席率、講師評価等の項目から総合的に評価する。 S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。					
備考						

専門学校ESPエンタテインメント東京 音楽芸能スタッフ科

授業科目名	エンタメ業界講座		授業形態 / 必・選	講義	必修	
	学則上表記	エンタメ業界講座	年次	1年次		
授業時間	90分(1単位時間45分)		年間授業数	38回(76単位時間)	年間単位数	5単位
科目設置コース	PAコース/照明コース/ローディーコース/舞台製作コース 企画制作コース/アーティストスタッフコース/音楽スタッフ総合コース				教員の 実務経験の有無	該当
担当講師 実務経歴	2001年に株式会社ドワンゴへ入社。部長職を経験後、音楽レーベル子会社へ転籍、プロデューサー職へ。ボーカロイドをはじめとするニコニココンテンツや声優・ラジオコンテンツのCDパッケージを数多く担当。現在はフリーランスとして、ネットやアプリの配信番組も多く担当、その他、動画の撮影編集、SNSを含めた運営及び運用、専門学校講師等に従事。					
授業概要						
アーティスト/タレントとプロダクションを中心とする、エンタテインメント業界のさまざまな職種と業務および関わりを学ぶ。						
到達目標						
業界内の会社知識の修得および業界企業の相関性の理解。						
授業計画・内容						
【前期】 1～5回目	芸能業界の全体像について					
【前期】 6～10回目	プロダクションの業務内容について レコード会社の業務内容について					
【前期】 11～15回目	著作権について 音楽出版社の業務内容について					
【前期】 16～19回目	TV・ラジオ/書籍出版社/Webメディアの業務内容について 媒体研究					
【後期】 20～24回目	RECスタジオ/マスタリングスタジオ/リハーサルスタジオについて					
【後期】 25～29回目	映像制作会社/編集スタジオ/MAスタジオ/音プロについて					
【後期】 30～34回目	ホール/ライブハウス/イベントについて					
【後期】 35～37回目	PA/照明/舞台/ローディー/機材レンタル会社について					
【後期】 38回目	総括。					
評価方法	学期末に実施する試験点数、出席率、講師評価等の項目から総合的に評価する。 S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。					
備考	適宜Webサイト上の関連ページを提示し、授業を実施。					

専門学校ESPエンタテインメント東京 音楽芸能スタッフ科

授業科目名	DAW基礎知識		授業形態 / 必・選	講義	必修	
	学則上表記	DAW基礎知識	年次	1年次		
授業時間	90分(1単位時間45分)		年間授業数	38回(76単位時間)	年間単位数	5単位
科目設置コース	PAコース				教員の 実務経験の有無	該当
担当講師 実務経歴	コロムビアスタジオにてアシスタントを経験し、サウンドスカイスタジオに移籍。その後トーンマイスターにて専属エンジニアとなる。1999年よりフリーランスとなりレコーディングエンジニア、PAエンジニアとして活躍中。					
授業概要						
ProToolsを使ったPC上でのMixのノウハウを学ぶ。 「音」を聴覚だけではなく視覚で読取る。						
到達目標						
ProTools上でのエフェクト・EQを含めたMix技法の習得。						
授業計画・内容						
【前期】 1～5回目	DAWとは？、ProToolsとは ProTools Roomの使い方、ファイルの扱い方、ショートカットキー					
【前期】 6～10回目	AG+Vo、Key+Vo、Orch+Voなど編成の小さな演奏のバランスどり(MIX) Master Fader / Master Level / Reverb (Aux Track) / Delay (Aux Track)					
【前期】 11～15回目	AG+Vo、Key+Vo、Orch+Voなど編成の小さな演奏のバランスどり(MIX)。 Reverb (Aux Track) / Delay (Aux Track) / EQ / Filter (INSERT)					
【前期】 16～19回目	AG+Vo、Key+Vo、Orch+Voなど編成の小さな演奏のバランスどり(MIX) Comp (INSERT)					
【後期】 20～24回目	Band STEM でのバランスどり(MIX) バランスのとり方 / Reverb / Delay / EQ / Comp を使ってMIX					
【後期】 25～29回目	Band STEM でのバランスどり(MIX) Reverb(複数) / Delay / EQ / Comp を使ってMIX					
【後期】 30～34回目	Dr Kit バランス(全部バラバラ)でのバランスどり(MIX) Reverb / Delay / EQ / Comp / Gate を使ってMIX / Group / Sub Group / VCA Goup					
【後期】 35～38回目	Dr Kit バランス(全部バラバラ)でのバランスどり(MIX) Group / Sub Group / VCA Goup / Reverb / Delay / EQ / Comp / Gate					
評価方法	学期末に実施する試験点数、出席率、講師評価等の項目から総合的に評価する。 S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。					
備考						

専門学校ESPエンタテインメント東京 音楽芸能スタッフ科

授業科目名	音響基礎知識		授業形態 / 必・選	講義	必修	
	学則上表記	音響基礎知識	年次	1年次		
授業時間	90分(1単位時間45分)		年間授業数	38回(76単位時間)	年間単位数	5単位
科目設置コース	レコーディングコース、PA&レコーディングコース、PAコース			教員の 実務経験の有無	該当	
担当講師 実務経歴	コロムビアスタジオにてアシスタントを経験し、サウンドスカイスタジオに移籍。その後トーンマイスターにて専属エンジニアとなる。1999年よりフリーランスとなりレコーディングエンジニア、PAエンジニアとして活躍中。					
授業概要						
レコーディング実習Ⅰ・PA実習Ⅰが実践中心の授業であるのに対して、本授業では、スタジオ内の機材ひとつひとつの名称や使用方法等、基礎知識を学ぶ。						
到達目標						
理論的な理解を深め、正しい機材取扱い方法の修得。物理学的な要素を学び、正しい音響機器の設置方法、音場整理の修得。						
授業計画・内容						
【前期】 1～5回目	授業説明、最低限の英単語をチェック 基本用語/音の3要素:音の仕組み、音速、、音程(周波数)/音色/音量					
【前期】 6～10回目	マイクについて:マイクとは～ダイナミック、コンデンサー～リボン、チューブ/指向性、近接効果など 音声ケーブル:バランス、アンバランス/スピーカーケーブル、コネクタ					
【前期】 11～15回目	信号の流れ:Mixer、ブロックダイアグラム/マイクレベルとラインレベル/DI、インピーダンス、トランス					
【前期】 16～19回目	楽器の名称と略語/エフェクターについて/EQ:パラメトリック、グラフィック、Filter、パラメータ/GEQ31Band憶える 前期試験					
【後期】 20～24回目	Reverb:Revの種類、パラメータ/接続法(Sendを使って、PRE/POST) Delay:パラメータ、テンポディレイのタイム計算/ディレイの応用機、ハース効果					
【後期】 25～29回目	音響心理(ハース効果含む)/スケジュール調整予備/Compressor・Limiter・Expander・NoiseGaterの機能とパラメータ スピーカー:ユニット/エンクロージャー					
【後期】 30～34回目	マルチウェイ/マイクレベルとラインレベル Group:VCAグループ、サブグループ/オーケストラの楽器の並べ方					
【後期】 35～38回目	総復習 後期試験					
評価方法	学期末に実施する試験点数、出席率、講師評価等の項目から総合的に評価する。 S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。					
備考						

専門学校ESPエンタテインメント東京 音楽芸能スタッフ科

授業科目名	ステージ音響実習Ⅰ		授業形態 / 必・選	実習	必修	
	学則上表記	ステージ音響実習Ⅰ	年次	1年次		
授業時間	90分(1単位時間45分)		年間授業数	76回(152単位時間)	年間単位数	5単位
科目設置コース	PAコース				教員の 実務経験の有無	該当
担当講師 実務経歴	大手PA会社を経て現在数々のコンサートツアー現場で活躍中 一方ホール管理スタッフも同時に担当しマルチに活躍					
授業概要						
ホールにてチームに分かれて実際の機材や機構等を確認しながらの実践実習						
到達目標						
PAについての基礎的な内容を習得						
授業計画・内容						
【前期】 1～5回目	電源について学ぶ(主幹、電源、テスター、Cable) 簡易SYSTEM(機材のSET UP/簡易SYSTEMを組み音を出す) マイクの種類,TB					
【前期】 6～10回目	SPEAKERの構成 POWER AMPについて学ぶ 簡易SYSTEMでの音源再生					
【前期】 11～15回目	イベント資料を学ぶ(TT,PLOT) 回線表の見方/MG32/回線チェック MULTI Cableについて					
【前期】 16～19回目	REVERB接続について GEQについて 2BANDのTOTAL回線表を作成する					
【後期】 20～24回目	作成した回線表に基づき仕込みを実践 M7CL/LS9について					
【後期】 25～29回目	視聴したいマイクを楽器ごとに選ぶ 仕込みのスピードアップを目指す					
【後期】 30～34回目	企画ライブに向けて準備 資料作成/資料確認/持ち出し機材リストを作成等					
【後期】 35～38回目	企画ライブ本番 Key弾き語り実習 BAND編成実習					
評価方法	学期末に実施する試験点数、出席率、講師評価等の項目から総合的に評価する。 S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。					
備考						

専門学校ESPエンタテインメント東京 音楽芸能スタッフ科

授業科目名	PA実習 I		授業形態 / 必・選	実習	必修	
	学則上表記	PA実習 I	年次	1年次		
授業時間	90分(1単位時間45分)		年間授業数	76回(152単位時間)	年間単位数	5単位
科目設置コース	PAコース			教員の 実務経験の有無	該当	
担当講師 実務経歴	大手PA会社を経て現在数々のコンサートツアー現場で活躍中 一方ホール管理スタッフも同時に担当しマルチに活躍					
授業概要						
本館ホールにてチームに分かれたセットアップ～チェックの基礎的な練習。 小規模編成のミキシング技術の習得。						
到達目標						
PAについての基礎的な内容、結線の仕組みシステムの構築技術の修得						
授業計画・内容						
【前期】 1～5回目	ホール機材について:機材の持ち方、運び方 電源について、テスター使い方					
【前期】 6～10回目	Cableの種類、用途を学ぶ 機材のSET UP(SX300STAND/MG16)					
【前期】 11～15回目	信号の流れについて SPEAKER CHECKについて(SP繋ぎ、P7000/CD.ipod接続/PRE.POST) MULTI CABLEについて(MULTI/GEQ/INPUT)					
【前期】 16～19回目	Bi-AMP/Sub TALK Live実践(SE叩き/TALK MIC のバランスとり/BGM)					
【後期】 20～24回目	カラオケ(DAM)/A.Glive実践(バランスをとる・モニターに返す) Digital Mixerについて(M7CLの説明)					
【後期】 25～29回目	Digital Mixerについて(M7CL/patch/INSERT/SCENEMEMORY/) VERTECの説明・デジタルAMP MIC視聴					
【後期】 30～34回目	音源再生:SOUND CHECKやり方、BANDのバランスをとる 企画ライブに向けて準備:資料に沿って仕込みを実践、転換練習/sound check、転換、チューニング					
【後期】 35～38回目	有線IEMの繋ぎ 1年間の総まとめ					
評価方法	学期末に実施する試験点数、出席率、講師評価等の項目から総合的に評価する。 S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。					
備考						

専門学校ESPエンタテインメント東京 音楽芸能スタッフ科

授業科目名	PA実地演習Ⅰ		授業形態 / 必・選	演習	必修	
	学則上表記	PA実地演習Ⅰ	年次	1年次		
授業時間	90分(1単位時間45分)		年間授業数	4回(20単位時間)	年間単位数	1単位
科目設置コース	PAコース				教員の 実務経験の有無	該当
担当講師 実務経歴	各科目担当講師、及び研修先のご担当者様等。					
授業概要						
それぞれのイベント等において接客対応、現場における作業について研修を行う。						
到達目標						
現場における作業、流れ等のノウハウ習得。イベント等を協力して作り上げることによるコミュニケーション能力の向上。						
授業計画・内容						
1回目	学校法人イーエスピー学園主催イベント					
2回目	外部コンサート・ライブスタッフ研修 屋内会場					
3回目	外部コンサート・ライブスタッフ研修 屋外会場					
4～5回目	ゲスト講師によるPA授業					
評価方法	平常点(授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価)					
備考						